

# 髄膜炎菌性髄膜炎

## 1. 髄膜炎菌性髄膜炎とはどのような病気ですか？

髄膜炎は様々な種類の細菌によって引き起こされます。髄膜炎菌性髄膜炎は、髄膜炎菌と呼ばれるバクテリア（細菌）が引き起こします。この細菌は、鼻や喉で見つけることができます。10人に1人の人が、病気を発症することなくこの菌を保有しています。

## 2. 髄膜炎菌性髄膜炎はどのように人にうつるのですか？

この細菌は、唾液（つば）や、咳やくしゃみをした際の飛沫と直接接触することにより、人から人へとうつります。密接な接触（キスなど）、同居、食器や食べ物、飲み物などの共有でもこの細菌はうつる可能性があります。

## 3. 髄膜炎菌性髄膜炎の症状にはどのようなものがありますか？

以下のような症状がみられる場合には、直ちに医師の診察を受けてください。

- 高熱
- ひどい頭痛
- 肩こり
- 吐き気と嘔吐
- 錯乱
- 低血圧
- 発疹
- 全身の筋肉痛

## 4. 髄膜炎菌性髄膜炎はどのように治療するのですか？

この病気は、早期に抗生物質（細菌を退治する薬）を使って治療した場合に治癒する可能性があります。抗生物質は医師による処方が必要です。医師が抗生物質の正しい飲み方を説明します。

## 5. 髄膜炎菌性髄膜炎が人にうつるのをどのように予防できますか？

- 食器、食べ物、飲み物、リップスティック、タバコを共有しないでください。
- 咳やくしゃみをするときは、鼻と口を二の腕やティッシュで覆ってください。



### キーポイント

- 髄膜炎菌性髄膜炎はバクテリア（細菌）によって引き起こされ、抗生物質による治療が可能です。
- 唾液によって細菌が人にうつる可能性のある食器、食べ物、その他のアイテムなどを共有しないでください。
- 喫煙しない、病気の人には近づかないなど、健康的な習慣を守ってください。
- 予防接種を受けることが正しい選択であるか、かかりつけの医師に相談してください。

- 病気にかかっている人との密接な接触を制限してください。
- 病気になる可能性が高いと感じている場合、かかりつけの医師に予防接種について相談してください。最近この病気にかかった人と密接な接触を持った場合、直ちにかかりつけの医師に相談して予防薬を処方してもらってください。
- HIV陽性の小児（生後2か月以降）と成人、学生寮に住んでいる学生、医学研究室に勤務している人、病気に対する抵抗力の弱い人、すべての男性同性愛者および両性愛者の男性は、予防接種を受けることが推奨されています。また子どもと11～12歳のティーンエイジャーは、2回目の予防接種を16歳に受けることが推奨されています。

詳細については：

**Los Angeles County  
Department of Public Health**（  
ロサンゼルス郡公衆衛生局）  
<http://publichealth.lacounty.gov/acd/>

**California Department of  
Public Health**（カリフォルニア  
州公衆衛生局）  
[www.cdph.ca.gov/healthinfo](http://www.cdph.ca.gov/healthinfo)

**Centers for Disease Control and  
Prevention**（CDC：アメリカ疾  
病管理予防センター）  
[www.cdc.gov/diseasesconditions](http://www.cdc.gov/diseasesconditions)

QID-HEA-0007-17(08/04/16)